

第32回全国「みどりの愛護」のつどい記念 神奈川県都市緑化功労者知事表彰市内受賞団体活動紹介

1. クリーン燈明堂

代表：常盤 宏

当団体は、平成14年5月より活動を始め、現在会員数15名で活動しています。活動場所である燈明堂は、海にせり出した敷地に残る石積みとその上の復元建物、松などの樹木からなる植え込みを中心に史跡が構成されており、横須賀市指定史跡に指定されています。連続する海岸線はホワイトサンドビーチという通称で呼ばれるほど美しい白砂が続き、海の向こうには房総半島も遠望できます。活動内容としては、敷地内の除草清掃、樹木管理に取り組んでおり、史跡の維持に大いに貢献しています。訪れる人に、いつも変わらぬ燈明堂跡の姿と、移ろいゆく四季の花々の情景を見てもらえるよう、活動を続けています。

2. くりはま花びと会

会長：栗林 幸男

当会は、平成14年より活動を始め、行政と協働して、久里浜地域を心やすらぐ花や緑にあふれる町にすることを目標に、現在18名で活動しています。「花をそだて心もそだて」を活動のスローガンとして、久里浜行政センターや明浜小学校、国道沿いの花の道などで、植替えや水やりなど花壇の管理、除草、清掃などを行っています。久里浜を花いっぱいの方街にするために、毎月行われるミーティングで次回の花植えやイベント出展の計画を行うなど、地域に密着した継続的な活動に努めており、行政センターの来館者や地域の小学生から、四季を感じることができると大変喜ばれています。

3. 里山わらべがっこ

代表：内田 眞一郎

当会は、自然体験活動を通じて環境整備や人的物的地域資源の活性化を目的に、平成22年2月から活動を始め、現在会員15名で活動しています。活動拠点である長坂の沢山池の里山は、現在は生産や生活の場として利用されることが少なくなった里山の環境を、新しい価値観のもとで保全・活用することを目的としており、当会は、環境自然教育、地域おこし、住環境再生の3つの柱を軸に、自然体験プログラムの実践に継続して取り組んでいます。具体的な活動内容としては、自然環境をテーマとした親子向けの森遊び、里山散歩、エコツアー、自然の材料を使ったクラフトなどのワークショップを、年間を通じて積極的に開催しています。

4. 猿島公園専門ガイド協会

会長：横田 隆

当会は、東京湾最大の自然島である猿島公園をフィールドに、平成 22 年 9 月から活動を始め、横須賀市のガイド養成講座修了生により構成する約 28 名で活動しています。活動拠点である猿島公園は、幕末から昭和にわたり首都防衛の主要な要塞であり、緑深い木々の中に、レンガ積みのトンネルや砲台跡などの旧軍施設が残っています。エコツアーガイドとして、市内外から猿島を訪れる人々に多くの魅力を伝えるため、日々研修を重ね、分かりやすい案内に努めています。また、ガイドツアーの実施だけでなく、三浦半島の自然植生が残る猿島の自然環境モニタリングや海岸清掃・除草等を定期的に行うなど、保全活動にも継続して取り組んでいます。

5. 地域の未来を考える会 W A F A

会長：秋本 毅

当会は、横須賀西地区を盛り上げ、次世代につなげていくことを目的に、平成 22 年 12 月から活動を始め、現在会員 15 名で活動しています。横須賀西海岸の荒崎公園における清掃や除草、地域行事等への協力、「荒崎海岸クリーンフェスタ」等イベントの企画・実施など、楽しみながら地域を盛り上げる活動を行っています。また、エコツアーガイドとして、主に家族連れを対象に、身近なみどりや海、歴史・文化などの地元にある多くの資源を案内するツアーの実施や、長井地区にある長井海の手公園ソレイユの丘の管理者が開催するマルシェ等イベントへの協力など、「みんなで楽しく学んで体験」をテーマに、地域に即した活動を継続しています。

6. 花好き会

会長：山田 昌彦

当会は、平成 24 年より活動を始め、久里浜の街を花でいっぱいにするという計画のもと、「花の街久里浜」を目指し、現在会員 18 名で活動しています。花好きの会員が集まり、くりはまみんなの公園ビニールハウスの花壇を活用して、種から花の苗を育て、育てた花苗を会員や商店会、町内会館などへプレゼントする活動を行っています。種蒔きや苗づくりを通して、発芽する喜び、育つ楽しさを花好きの仲間とともに共有しています。久里浜地域運営協議会みんなの公園専門部会に所属しており、花壇の管理、除草、清掃を行いながら、地域の方々が安心して暮らせるよう、公園内の見回り活動にも積極的に取り組んでいます。

7. 平作川クリーン大作戦実行委員会

委員長：島崎 竹司

当実行委員会は、平成 11 年より活動をはじめ、現在委員 22 名で活動しています。衣笠地区のシンボルの一つである平作川を、平作川の源流付近及び池上親水公園から、宮原橋先に至るまでの区間を 16 か所の清掃区域に分けて、年 1 回、広範囲にわたる河川清掃を行っています。清掃には、衣笠地区連合町内会や平作川周辺の学校・事業者等の協力を得て、約 1,000 名の方が参加しています。この活動を継続して行うことにより、地域住民の環境に対する意識をさらに高めるとともに、「世代間」及び「地域間」の交流を深め、コミュニティ活動を活性化させることに大いに貢献しています。

8. 三浦半島「自然ふれあい楽校」

顧問：野崎 章子

当会は、三浦半島を中心に自然環境分野で活動する 11 団体の市民グループにより運営しています。三浦半島の中心に位置する「湘南国際村めぐりの森」を拠点として、「サマースクール」や「オータムフェスタ」などの自然観察・管理体験スクールや、里山環境を維持するための活動を定期的に行っています。三浦丘陵の最高峰・大楠山とその西南に広がる約 112ha の広大な土地は、平作川、前田川、関根川の水源地であり、地域の貴重な“みどり”の拠点となっています。自然とのふれあいをきっかけに、自然環境について考えることができる人材を育むとともに、めぐりの森を人々が活用できる里山にするため、保全・再生していく活動を続けています。

9. 横須賀里山田んぼ倶楽部

会長：角屋 良夫

当会は、横須賀市が実施した講習会の OB 会をもとに発足し、市内の里山再生活動の担い手として活動しています。横須賀で失われつつある里山的環境を再生するため、長坂の沢山池の里山を中心に、樹林地管理と田んぼ活動を行うとともに、ボランティア育成講習会を通して、里山の担い手づくりにも精力的に取り組んでいます。また、里山的な景観と環境の再生・整備・保全・活用などの活動を通じ、地域の活性化や、身近にふれあえる自然環境を市民に提供する取り組みも積極的に行っており、ツルや稲わら、竹材など、里山の材を利用したリースづくりや門松づくりなど、自然環境にふれあいながら体験できるプログラムを展開しています。

10. 横須賀ほたるの会

会長：三ヶ田 康造

当会は、昭和 63 年 7 月より活動を始め、現在会員 16 名で活動しています。岩戸川及び千駄川を中心にホタルの保全活動を実施するとともに、市内各所のホタルに関する調査を行うことにより、ホタルの保護及び再生を通じて、自然豊かな水辺環境を守る活動を継続しています。具体的には、ホタル発生場所である水路の清掃や草刈り、ホタルの幼虫及びカワニナなど水生生物の保護を実施しています。ホタル発生時期には、市内各所のホタルの発生状況の観察及び記録も行っています。また、多くの方々にホタルが生息する環境に触れてもらえるように、一般市民向けの観察会を開催し、ホタルの生態を解説する活動にも取り組んでいます。